

科研費公募申請書 外部添削支援 実施要項

令和7年4月15日

研究推進会議

1. 趣旨

本支援は、熊本大学(以下、「本学」)の研究者に対して科研費の獲得を支援し、研究力強化を図ることを目的とするものである。これを達成するために、外部サービスを利用した申請書添削を提供して支援し、採択増につなげる。

2. 支援内容:

「科研費獲得の方法とコツ」(羊土社)の著者で知られる児島将康氏が代表を務めるジーラント株式会社(<https://g-rant.org/>)の申請書校正サービスの利用料を全額支援する。

- 添削支援のやりとりは、ジーラント社と利用者間での直接メールで行う
- 添削支援では、改善点や修正点をコメントファイルおよび申請書ファイルに記入したものを返却
- 利用者が申請書類を登録(送付・受理後)してから 5 日程度を目安として、利用者に添削結果を返却
- 添削支援では、一度添削を実施した申請書類と同一の研究種目・研究課題については回数無制限で、繰り返し添削コメントを作成(何度も利用することで申請書のブラッシュアップが可能)
- 様式チェック(資金配分機関が定める要領・ルールに基づき、申請様式の確認、記載項目の不足、経費の妥当性や整合性チェックなど)も受けることが可能。

3. 実施する支援タイプ

- 公募枠
後述する対象種目に応募する者が対象
- リトライ枠
科研費リトライ支援事業*受給者が該当、その他の者は対象外

*科研費リトライ支援事業とは、科研費に応募したが不採択(A判定)だった研究者に対し、継続した研究活動を支援するための研究費を助成する事業。若手型(45歳未満のみ申請可能)、基盤A・B重点型、出版助成型がある。

4. 申請資格

本学に本務を有する者(客員、非常勤の扱いとなる研究者は含まない)。

5. 対象種目

- 公募枠
基盤研究(A)、基盤研究(B)、挑戦的研究(開拓)、挑戦的研究(萌芽)
- リトライ枠
リトライ支援を受給している種目

6. 利用条件

以下の(1)～(5)の条件をすべて満たすこと。

- (1) 翌年度の科研費(添削を受けた種目)に必ず応募する。本支援を受けた者が利用年度中の科研費応募が困難となった場合、速やかに学術研究企画部門に理由書を提出すること。なお、出産、育児、介護等のライフイベントに関する理由以外は利用料の返還を求められることがある。
- (2) 前回科研費を申請し不採択だった者は、初回添削として不採択時の申請書と審査結果開示資料を提出し添削を受ける。
- (3) 最終受付を含め支援期間内に最低2回以上(3回以上を推奨)添削を受ける。
- (4) 添削支援を受けたが不採択だった者は、審査結果開示後に該当する種目の調書(PDF)と開示資料を学術研究企画部門に提出する。
- (5) メールでの添削支援のやりとりには、必ず競争的研究費獲得支援(URA) (gaibushikin-shien@jimu.kumamoto-u.ac.jp)を CC に入れること。

7. 申請方法

別途通知する。

8. 支援対象者の決定方法

申込数が上限を超える場合は、科研費への応募・不採択状況を参考に支援対象者を決定する。

9. 注意

申込み後に本支援を辞退する場合は、速やかに学術研究企画部門まで連絡すること。